

2021年3月期 第3四半期

# 決算説明資料

2021年2月10日

株式会社エフティグループ

証券コード：2763



# 目次

01/ 会社概要

02/ 2021年3月期 事業活動トピック

03/ 2021年3月期 第3四半期業績

04/ 株主還元

# 01/ 会社概要

---

ミッション

事業・ビジネス概要

取扱商材

競争優位性① ストック収益による安定収益の積み上げ

競争優位性② 変化する市場環境への対応力

競争優位性③ 実力のある人材が活躍できる制度

会社概要

# オフィスと生活に新たな未来を。

---

私たちは、「提案力」「技術力」「サポート力」の3つの強みで、情報通信システム、セキュリティシステム、インターネット環境、省エネルギーサービス等のご提案を行い、お客様の見えない課題を見つけ出して解決します。

オフィスのインフラを支え、安心して快適な生活環境づくりに貢献すること、それが私たちエフティグループの使命です。

# 01/事業・ビジネス概要

## ストック商材

- 継続率が高く、定期的な収入の見込める自社商材を中心に提供
- 販売の多くは、パートナーによる販路が占める

継続率  
の高い  
ストック商材

## 01/ 環境商材

節水装置 / LED照明レンタルなど

## 02/ インフラ商材

小売電力/光回線/UTMサーバーなど

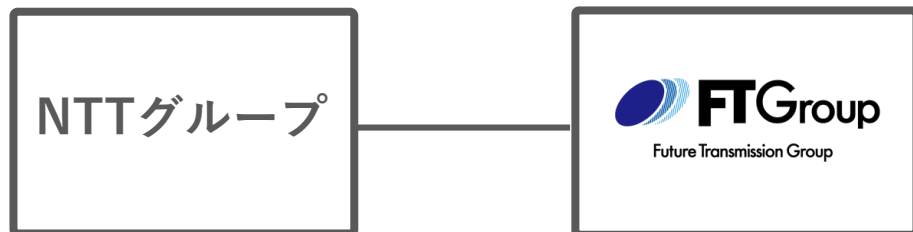
## 03/ 集客商材

SNS促進支援 / LINE集客支援など

## ショット商材

- NTT社のパートナーとして、通信商材を展開

売上  
の大きい  
ショット商材



NTT東西

年間取引高

7年連続1位

※2019年度時点



NTT東日本

特約店第1位に贈られるベストパートナー賞

7年連続1位

ビジネスホン販売賞  
IT関連商材賞  
複合機販売賞  
※2019年度時点



NTT西日本

2019年度  
情報機器特約店

第2位

優秀賞  
データ系商材販売賞  
専売店舗推進賞  
※2019年度

# 競争優位性① ストック収益による安定収益の積み上げ

- ストック収益の拡大方針。売上全体の50%以上に増加。



## ストック収益とは？

お客様に継続して提供するサービスによる毎月の利用料等からサービス提供にかかる原価・費用等を除いた利益

## 安定性について

エフティグループのストック収益は、光回線や小売電力などのインフラに関わるサービスによるものです。そのため、解約されづらく、継続の長さも安定性の一つになっています。

# 競争優位性② 変化する市場環境への対応力

2011

東日本大震災後の節電需要の増加に伴い  
**LED照明**の販売開始

累計出荷台数  
**319万本**  
※2020年12月時点

2014

2017

電力自由化に伴い、  
**電力小売**事業に参入

顧客数  
**15万件**  
※2020年12月時点

2020

コロナ拡大に伴い、  
**空気浄化装置**の販売開始

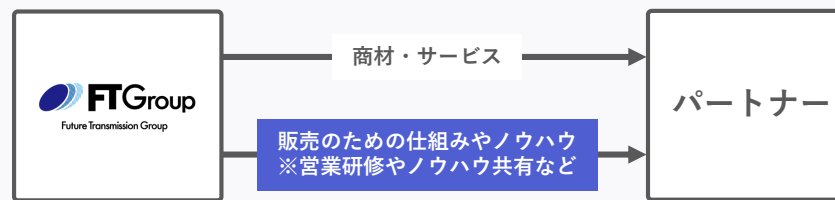
販売数  
**1150台**  
※2020年12月時点

なぜ対応していけるのか？

顧客への定期的なサポート体制やパートナーとの連携により、いち早く顧客の「ニーズ」を把握できる体制を構築しています。

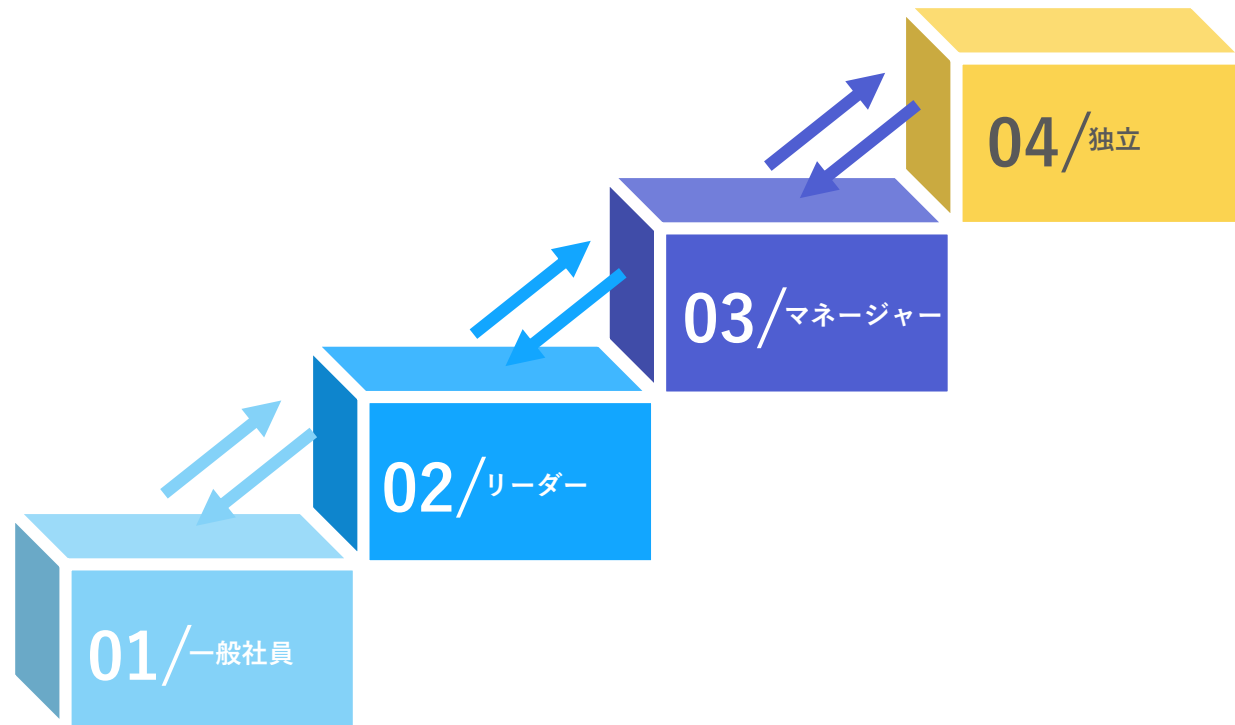


「商材・サービス」だけではなく、「販売していくための仕組みやノウハウ」を有していることが、連携先となるパートナー数の拡大に寄与しています。また、自社で実践した販売のノウハウをリアルタイムに共有する仕組みによって、年々パートナーによる獲得比率が増加傾向にあります。



## 競争優位性③ 実力のある人材が活躍できる制度

- 結果を出した優秀な人材を評価する制度により、実力のある人材がステップアップしやすい環境を構築しています。



### エフティグループの人事制度

結果を出した人材を積極的に評価し、責任者として輩出する人事制度を運用しています。

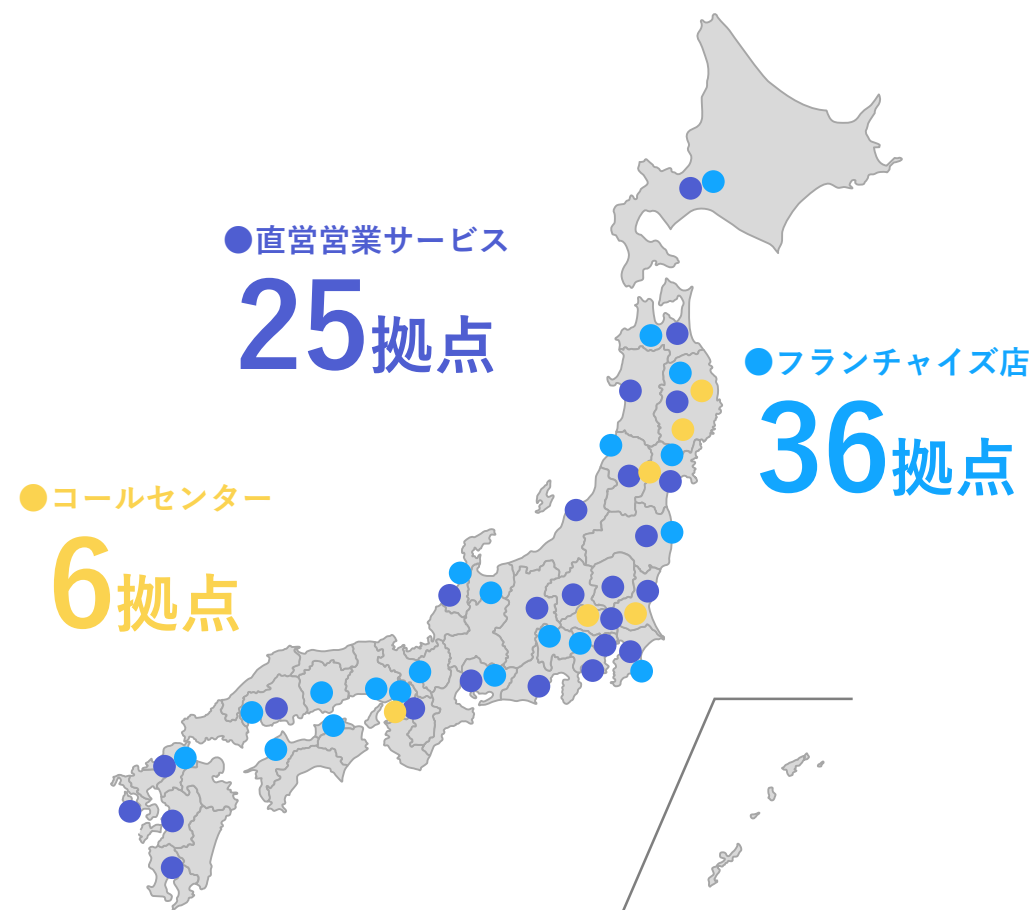
そのため、優秀な人材ほど任される範囲も広くなり、より大きな成果が出しやすい仕組みになっています。

最終的には、パートナーとしての独立も支援しています。



# 会社概要

会社名	株式会社エフティグループ
本店所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号
設立日	1985年8月1日
代表者名	代表取締役会長 畔柳 誠 代表取締役社長 石田 誠
資本金	1,344百万円 ※2020年12月31日現在
従業員	連結903名 ※2020年12月31日現在
拠点	直営営業サービス 25拠点 フランチャイズ店 36拠点 コールセンター 6拠点



# 02 / 2021年3月期 事業活動トピック

---

ストック拡大

ショット商材

新型コロナウイルス感染拡大の影響は軽微

# 事業活動トピック

## 01/ スtock拡大

- 売上高・保有件数が順調に増加
- 小売電力サービス3Q累計売上高106億円 前年同期対比140.6%
- 回線サービス、節水サービスも堅調
- LINE集客支援サービス販売開始

## 02/ ショット商材

- 情報通信サービス堅調
- 今期販売を開始した空気浄化装置などのウイルス対策商品が収益に貢献

## 03/ 新型コロナウイルス感染拡大 の影響は軽微

- ネットワークインフラ事業においては影響を受けた一部お客様に緊急事態宣言期間中の支援実施
- 法人ソリューション事業においては第1四半期に一部工事遅延が発生も影響は短期で解消
- 4月新卒社員80名予定通り入社集合研修を行わずオンライン研修のノウハウを蓄積

# 03 / 2021年3月期 第3四半期業績

---

全体業績（第3四半期）

全体業績 | セグメント内訳（第3四半期）

セグメント別業績① | ネットワークインフラ事業（第3四半期）

セグメント別業績② | 法人ソリューション事業（第3四半期）

セグメント別業績③ | その他事業（第3四半期）

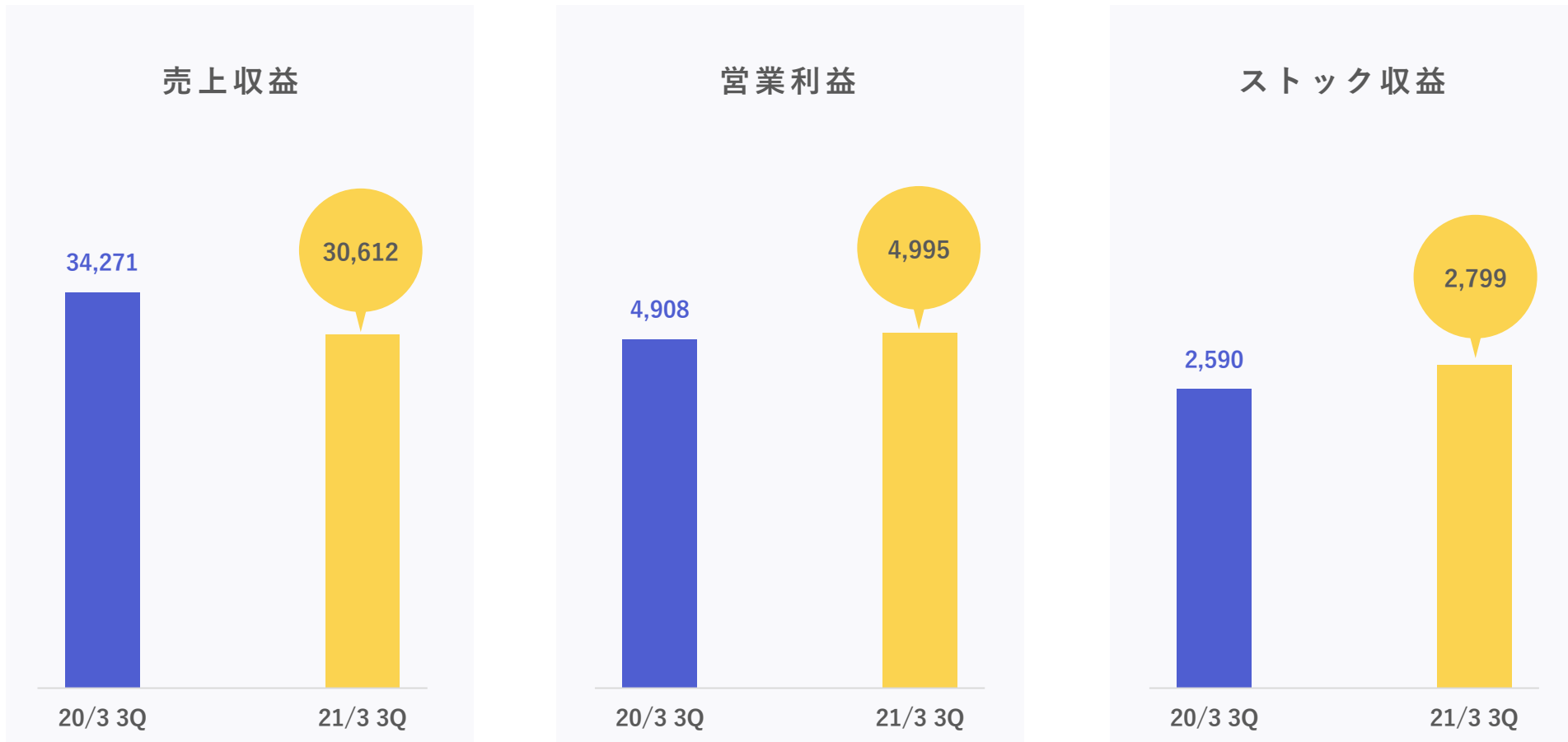
BS（第3四半期）

通期業績予想

## 全体業績（第3四半期）

- 売上収益の減少は第2四半期でのアレクソン・アローズコーポレーションの株式譲渡による連結範囲の減少が影響
- 一方、ストック収益が堅調に推移

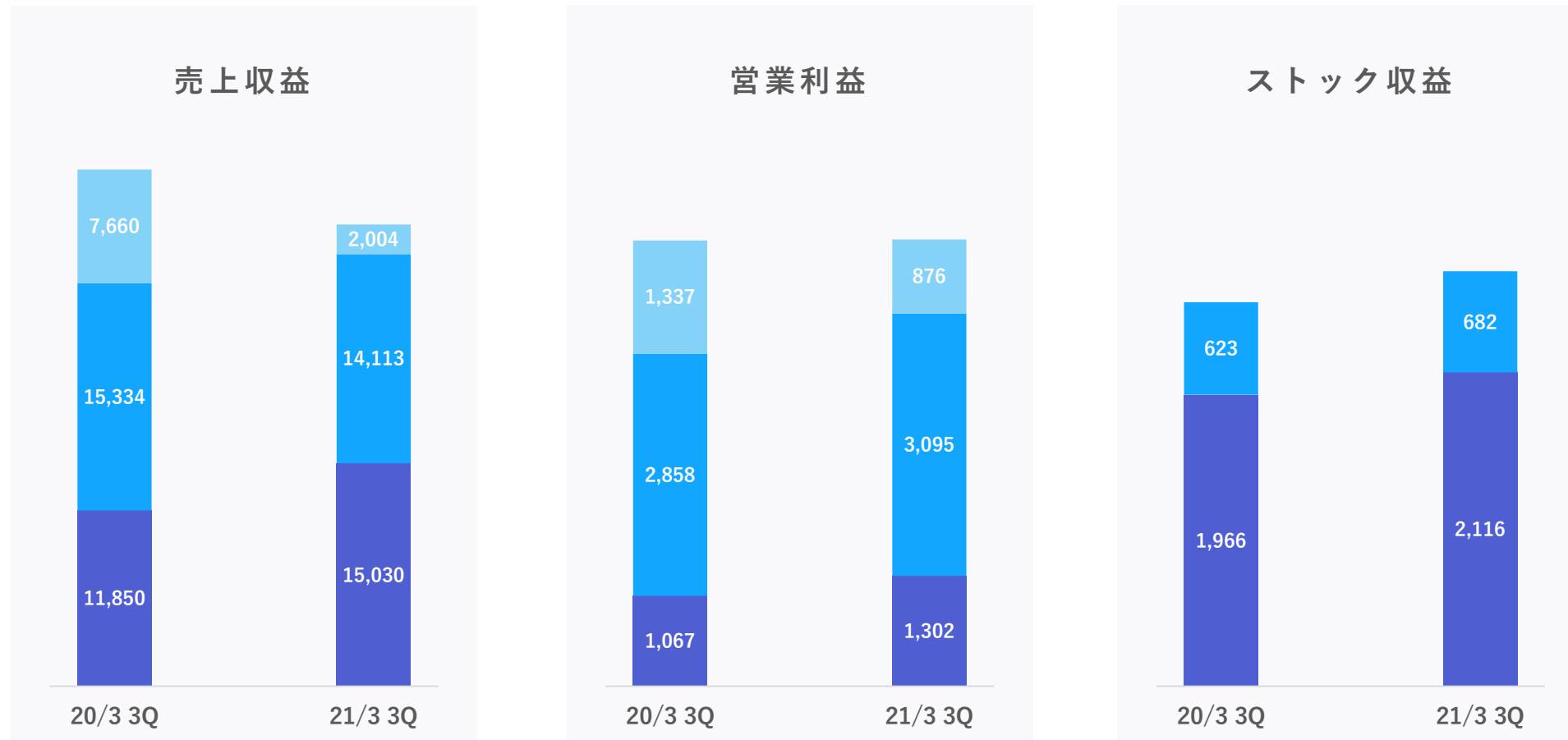
単位：百万円



# 全体業績 | セグメント内訳 (第3四半期)

- 全体に対するネットワークインフラ事業の収益比率増加 = ストック拡大
- 法人ソリューション事業で安定したショット収益を確保

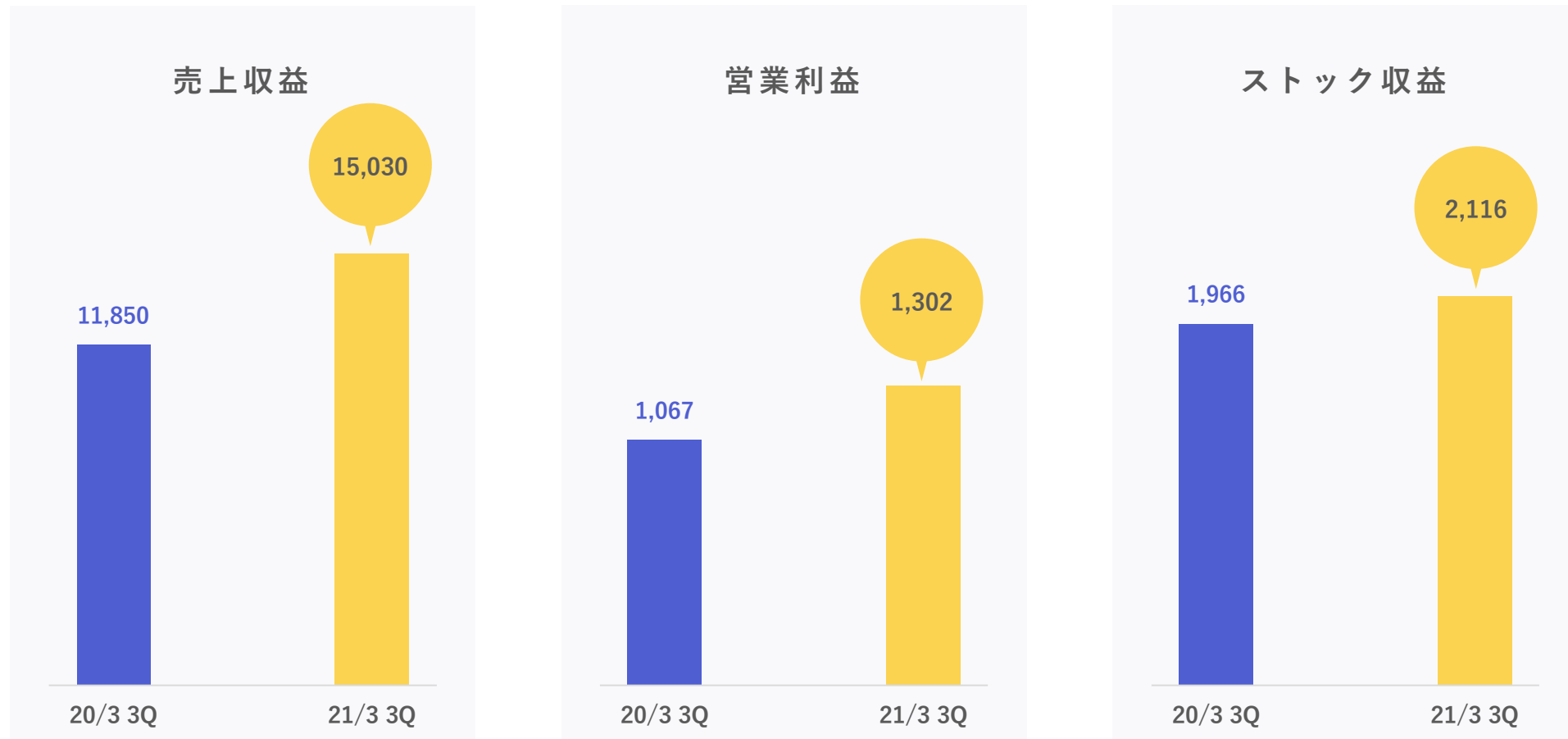
■ネットワークインフラ事業 ■法人ソリューション事業 ■その他事業 単位：百万円



# セグメント別業績① | ネットワークインフラ事業 (第3四半期)

- 小売電力サービス契約数が順調に増加し前年対比大幅増

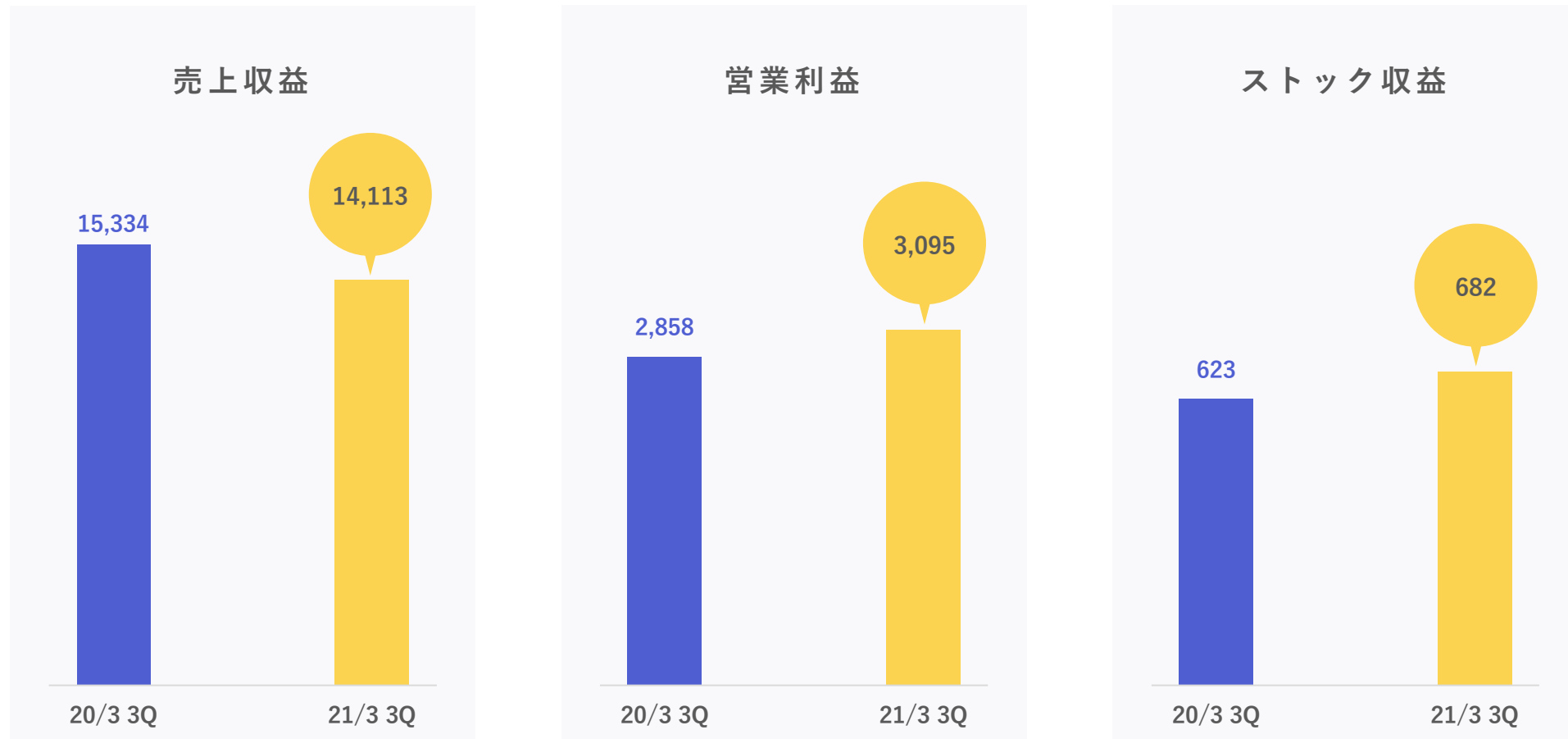
単位：百万円



## セグメント別業績② | 法人ソリューション事業（第3四半期）

- 前期の売上収益はIFRS導入での収益認識変更によるプラスが10億円
- 前期対比で売上収益は同等ながらも営業利益が増加
- 各商品の定額保守サービス等がストック収益増に貢献

単位：百万円

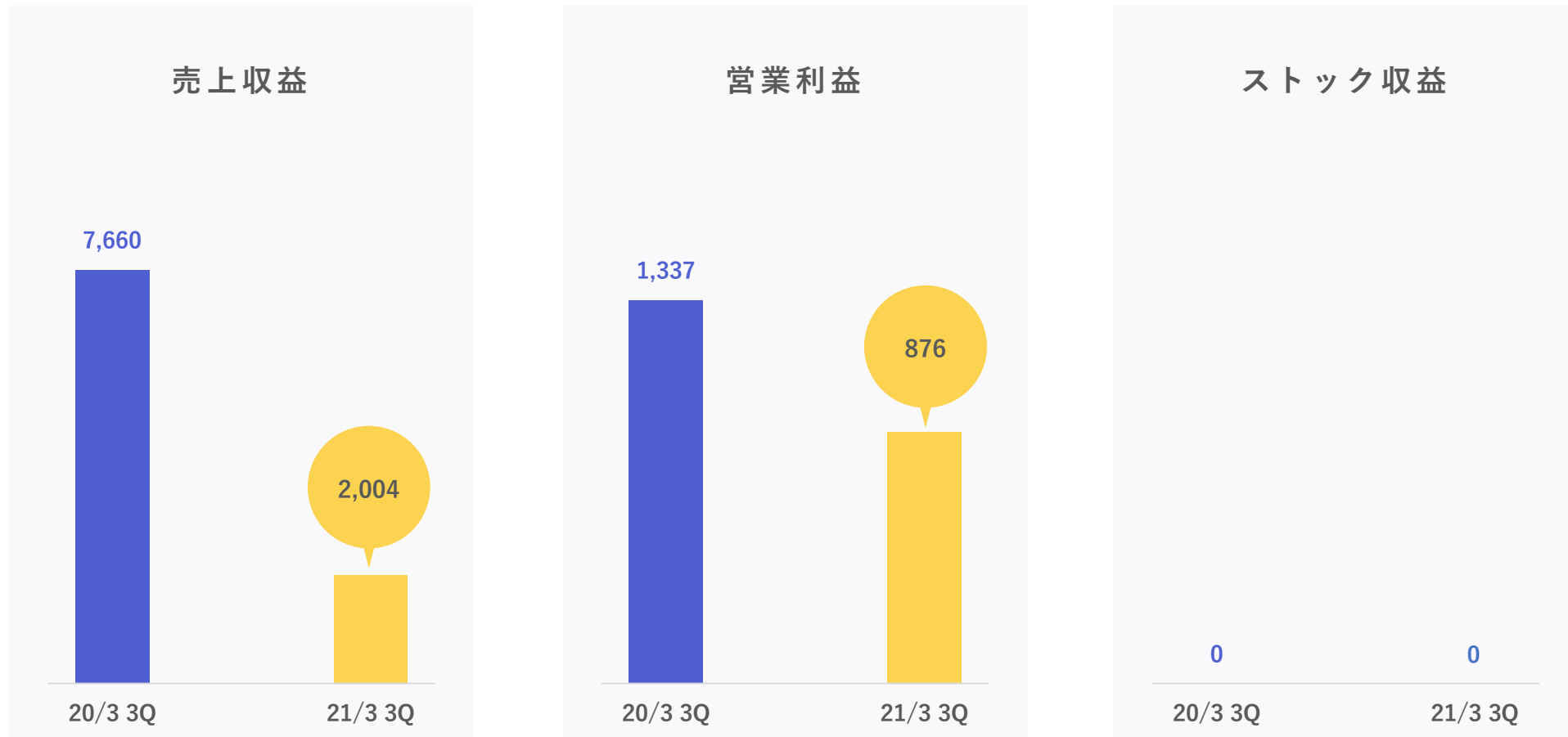




## セグメント別業績③ | その他事業（第3四半期）

- 21/3 アレクソン・アローズコーポレーションの株式を譲渡し非連結化
- 20/3 海外事業の譲渡益を計上

単位：百万円



# BS（第3四半期）

区分	2020年3月期 年度末	2021年3月期 第3四半期末	増減	前年対比増減
<b>主な資産</b>				
現金・現金同等物	8,902	10,414	1,512	17.0%
営業債権・その他債権	8,610	8,017	△ 593	△6.9%
有形固定資産	2,125	1,390	△ 735	△34.6%
使用権資産	1,785	1,510	△ 275	△15.4%
その他金融資産	3,336	3,308	△ 28	△0.8%
契約コスト	4,852	5,853	1,001	20.6%
<b>資産合計</b>	<b>32,490</b>	<b>32,999</b>	<b>509</b>	<b>1.6%</b>
<b>負債・資本</b>				
営業債務・その他債務	4,873	4,464	△ 409	△8.4%
有利子負債（流動）	2,080	3,690	1,610	77.4%
有利子負債（非流動）	8,252	6,217	△ 2,035	△24.7%
<b>負債合計</b>	<b>16,984</b>	<b>17,038</b>	<b>54</b>	<b>0.3%</b>
資本金・資本剰余金	2,544	2,544	0	0.0%
利益剰余金	14,496	14,405	△ 91	△0.6%
自己株式	△ 1,742	△ 1,048	694	△39.8%
<b>資本合計</b>	<b>15,505</b>	<b>15,961</b>	<b>456</b>	<b>2.9%</b>

単位：百万円

・・・  
ストック商材獲得のための代理店手数料

・・・  
自己株式の消却により  
減少

# 通期業績予想

単位：百万円

区分	2020年3月期 実績	2021年3月期 業績予想	修正後 前年対比	修正後 前年対比
売上収益	45,887	42,000	▲3,887	91.5%
営業利益	6,254	6,700	446	107.1%
売上高営業利益率	13.6%	15.9%	-	-
親会社所有者帰属当期利益	3,897	3,900	3	100.1%

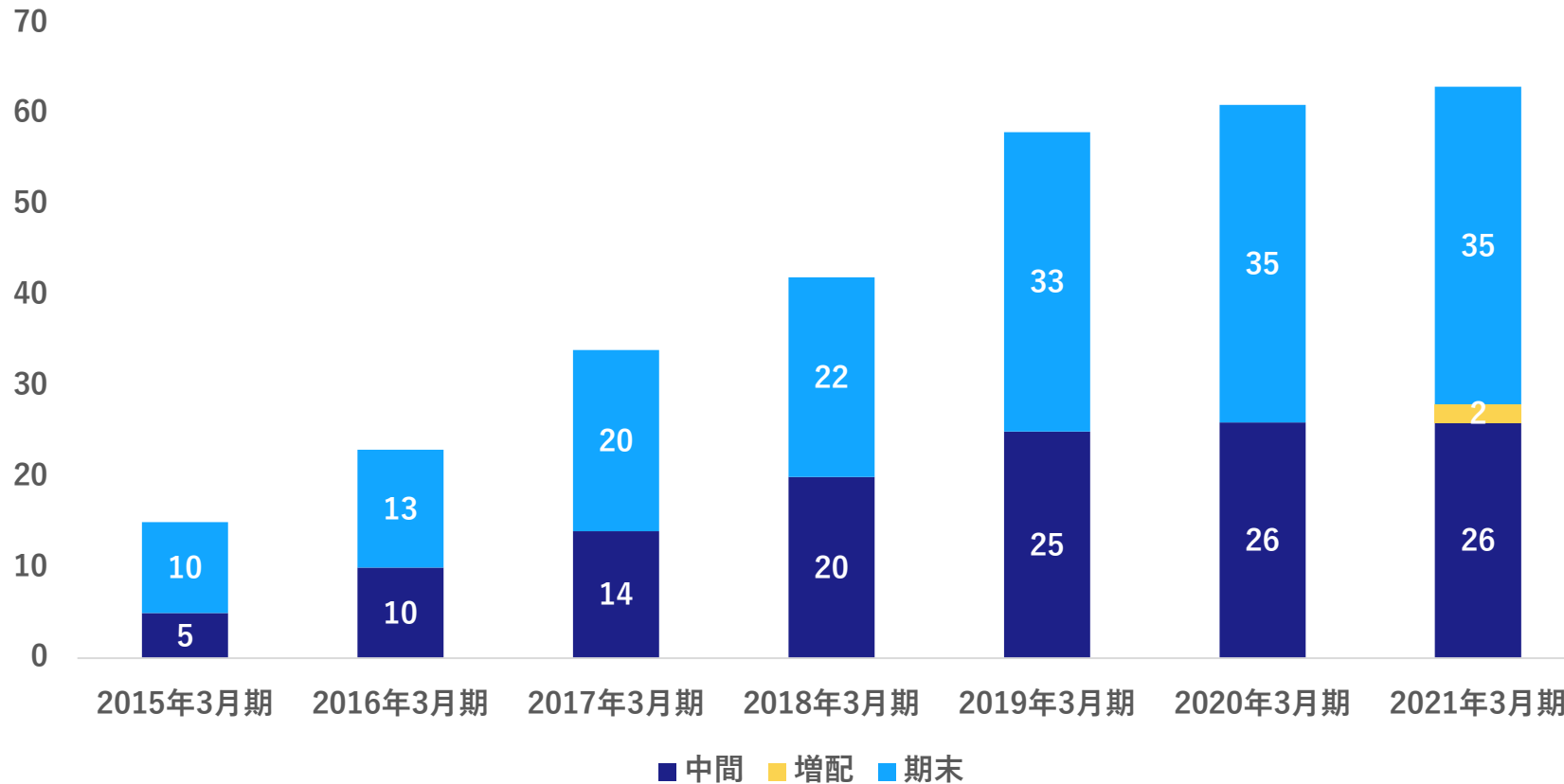
# 04/ 株主還元

---

配当方針・配当実績  
自己株式の消却・取得

## 配当方針・配当実績

- 配当の基本方針として、当期純利益に対する配当性向50%を目途に決定
- 2021年3月期の中間配当予想：26円→28円（当初予想より2円増配）
- 2021年3月期配当予想：中間28円、期末35円、年間63円



# 自己株式の消却・取得

## 過去5年の自己株式取得状況

決議	取得株式数	取得金額
2015年8月	600,000株	4億3,300万円
2016年2月	400,000株	2億6,200万円
2016年5月	753,700株	5億9,900万円
2016年8月	720,000株	5億5,900万円
2018年6月	507,800株	7億9,900万円
2018年11月	250,000株	3億8,600万円
2019年6月	500,000株	7億4,000万円
2019年11月	600,000株	7億7,900万円
2020年8月決議	440,000株上限	8億円上限

2020年8月7日決議 2020年9月1日付で  
自己株式1,240,048株（3.73%）を消却  
消却後の発行済株式数：32,022,268株

さらに2020年8月7日取得株数上限44万株、  
取得額上限8億円の自己株式の取得を決議し実行中  
取得期間：2020年8月14日から2021年2月28日まで

# 本資料に関するご注意

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。